

○第82回プリオン専門調査会

日時：平成25年9月2日（月）9：30～11：15

場所：食品安全委員会 中会議室

議事概要：

1. 「アイルランド及びポーランドから輸入される牛肉及び牛の内臓に係る食品健康影響評価」について  
〔アイルランド及びポーランドの「飼料規制の遵守状況」について〕

- ・山本専門委員から説明が行われた後、審議が行われた。
- ・審議の結果、アイルランドについては、必要な情報が概ね揃ったことから審議を進めることとし、ポーランドについては、現時点では「飼料規制の遵守状況」を確認するための情報が不足していることから、厚生労働省に対し、再度、必要な情報の提出を要請することとなった。

〔アイルランドの評価書（案）について〕

- ・事務局及び山本専門委員から説明が行われた後、審議が行われた。
- ・審議の結果、アイルランドに係る輸入条件に関する以下のリスクの差については、いずれも「あったとしても非常に小さく、人への健康影響は無視できる。」と評価された。
  - (1) 月齢制限  
「輸入禁止」の場合と輸入月齢制限の規制閾値が「30か月齢」の場合
  - (2) SRMの範囲  
「輸入禁止」の場合とSRMの範囲が「全月齢の扁桃及び回腸遠位部（盲腸との接続部分から2メートルの部分に限る。）並びに30か月齢超の頭部（舌及び頬肉を除く。）、脊髓及び脊柱」の場合
- ・アイルランドの評価書（案）の一部記載の修正については、座長一任とされ、修正後、食品安全委員会に報告することとなった。

2. 「ブラジルから輸入される牛肉及び牛の内臓に係る食品健康影響評価」について

- ・座長から、評価に必要な項目ごとに起草委員を依頼したことについて報告が行われた。
  - (1) 侵入・増幅・曝露リスク担当：筒井、山本各専門委員
  - (2) サーベイランス手法等担当：堀内、毛利各専門委員
- ・「BSE対策状況のまとめ」について事務局から説明が行われた。
- ・厚生労働省に対し、不足している情報等の提出を要請することとなった。
- ・起草委員による検討内容を踏まえ、引き続き次回以降の調査会で調査審議を行うこととされた。
- ・次回の開催については、日程調整の上、決定することとされた。

以上